

資料2

令和6年(2024年)2月27日
 高齢者計画・介護保険事業
 計画策定部会
 高齢者いきいき課

八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画(素案)からの更新内容一覧

No.	テーマ	施策目標	分類	意見等概要	対応方針	計画修正
1	-	-	冊子構成	【パブコメ】施策目標が導出された背景がわからない 【パブコメ】計画策定部会委員名簿を追加すべき 【パブコメ】P17で虐待防止対策が今後の課題とされている理由・データを記載すべき 【パブコメ】ロジックモデルがわかりにくいなど	・いただいたご意見を基に、より分かりやすい構成やレイアウトを検討中 ・ロジックモデルは指標と合わせて見開き左右を使って表示(別紙サンプルのとおり)	○
2	-	-	全般	素案全体に目を通した印象が、様々に検討された様々な施策が「コロナ禍のもたらした影響の大きさ」をカバーするには不足しているのではないかとのこと。	・パブコメでの意見を受けて、介護予防効果を高めるための効果的なサロン活動支援について計画に記載することを検討中。 ・社会参加等の取り組みについて、コロナ前の数値を意識して目標値を設定するなど、進捗管理の中でも意識していく。	○
3	-	-	全体ロジックモデル	【庁内】2-06と07は逆にした方が基本法を踏まえているといえるかも…(基本法は本人の人権が前面のため)。	認知症施策が予防・社会参加の面で柱②にリンクしているため、素案では全体ロジックモデルの見やすさを優先した順番としていました。しかし、認知症基本法の理念に照らすなら、本人への視点をより強調した計画とすることがふさわしいため、順序の変更を検討しています。(高齢者福祉課とも調整のうえ決定します)	○

4	-	01	利用者負担	<p>【パブコメ】自宅に居られなくなった際の住まい等について、年金で入れる、利用できる施設やサービスが望まれている。今後、介護保険負担割合増や年金減が確実な中、介護保険サービスさえ受けられない方々が増えていくような現状を、市として真剣に考えて欲しい。</p> <p>【パブコメ】市独自の認知症高齢者グループホーム利用者負担軽減制度は家族にとり、とても有難い制度だと思う。一方で認知症対応のデイサービスも料金が割高でなかなか通えないなどの声も耳にするため、更なる補助を検討して欲しい。</p> <p>【パブコメ】分かりやすいサービス料の計算方法にしてほしい。施設よっての加算など、利用者には、わかりにくいです。</p> <p>【パブコメ】介護サービスの利用金額について、上限を越えた分が戻ってくるのではなく上限に達したら、自動的にストップする方法を考えてほしい。</p>	サービス利用に係る利用者負担については国が定めるものですが、市は認知症高齢者グループホームの利用への負担軽減を独自に行っています。引き続き、サービスの需要・供給を総合的に勘案しながら、必要な負担軽減を実施していきます。	-
5	1	02	医療・介護連携	<p>【パブコメ】できるだけ自宅で最後まで過ごすためには、医療、介護など必要な外部機能の連携と充実が必須。</p> <p>【パブコメ】本人の望む最期を迎えられるように、本人の意思を丁寧に聞き取っているかを第三者が評価する仕組みが必要ではないか。</p>	・医療・介護連携については、9期中に両部門の担当者や専門職によるワーキングや医療関係者向け意識調査などを経て、連携のボトルネック特定と解決に向けた検討を進めていく想定です【施策02-5-8】。	-
6	1	02	医療介護連携	【制度改正】協力医療機関を定めることの義務化	医療介護連携強化への検討(施策02-5-8)の中で、改正対応に向けた現場の課題分析や支援のあり方を検討	-
7	5	03	住まい	<p>【庁内】P38重要テーマ5の中で、住いの終活についても記載して欲しい</p> <p>【パブコメ】サービス付き高齢者向け住宅などについて、医療や生活支援が必要となっても住み続けられるか、看取りまでできるか、などを評価してわかりやすく示してほしい。</p>	<p>・重要テーマに住まいの視点を明記</p> <p>・住まいは、基本的には利用者自身が自らの望みに合わせて選択するものであり、そのための評価や情報集約・発信について現時点で実施予定はありません。ただし、老いに備える普及啓発の視点から、高齢期の住み替えのタイミングや住まい選びの視点など、「住まいの終活」を考えるための情報発信を進めてまいります。</p>	○
8	-	04	災害・感染症対策	-	<p>本計画において目標設定や進捗管理をするのに適さないアウトプット・アウトカムが多いため、一部を抜粋して施策01に取り込みます。</p> <p>これに伴い施策目標の数が17→16に変更</p>	○

9	3	05	意思決定支援	<p>【パブコメ】権利擁護や後見の手続きに時間がかかり、ケアマネにとっても負担。</p> <p>【パブコメ】手続き完了までの暫定的支援方法があると助かる。</p> <p>【パブコメ】成年後見制度など、各支援制度の周知徹底を図る必要がある。</p>	<p>個々の支援制度は市が運営しているものではないため、手続きの期間短縮を直接行うことは困難です。一方で、高齢者数の増加に伴い支援のニーズが増加していくことと見込まれることから、市では重要テーマ5に「老いに備える普及啓発」を位置づけ、事前の意思表示や任意後見の効果的な活用を促していくことを取組の中心に据えていきます。</p>	-
10	6	06	介護者支援	<p>【部会意見】コラム等で認知症家族会や認知症カフェを紹介してほしい</p>	<p>追記します</p>	○
11	6	06	介護者支援	<p>①【部会意見】コラム等で認知症家族会や認知症カフェを紹介してほしい</p> <p>②介護者支援のきょうかについて</p> <p>【パブコメ】介護者支援のための講座などに参加する際に、要介護者をみる人がいない。送迎やヘルパーの自費見守りへの支援金、オンライン参加支援など検討して頂きたい。</p> <p>【パブコメ】ケアラー手帳には、介護者どうしの繋がり(ピアサポートの重要性)を記載していただき、家族会等身近にある繋がれる場所の紹介もしていただきたい。</p> <p>【パブコメ】ケアラーの実態を調査・分析し、課題を把握したうえで、ケアラー支援条例を当事者参加で制定することを求める。</p> <p>【パブコメ】暴力・暴言のある場合など、周辺症状の強い認知症の人に対するサービス提供体制は急務。虐待や介護離職の問題にもつながりかねない。</p> <p>【パブコメ】家族介護者への負担軽減が家族会の支援と限定的。それ以外の困難を抱えた多くの家族介護者にこそ目を向けた事業を再考して欲しい。</p> <p>ほか 介護者支援全般について意見多数</p>	<p>ケアラー支援については、これまでの取組のさらなる強化や周知徹底の他、令和6年度から新たに作成・配布するケアラー手帳の内容検討のなかで当事者の声を拾っていき、さらなる取組を検討していくこととします。</p>	-
12	6	07	認知症施策	<p>【パブコメ】国や都の方針・補助制度が見えておらず、また当事者・家族をはじめとしたさまざまな主体との丁寧な議論が行われていないことなどから、本計画を認知症施策推進計画と一体のものとして位置付けることには反対である。</p> <p>【パブコメ】認知症基本法の精神を踏まえ、当事者参加による認知症基本条例の制定を求める。</p>	<p>・高齢者に関する各種取組の整合性を重視し、八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画と一体のものとして認知症施策推進計画を策定しております。ただし、施策の推進や新たな課題・取組の検討にあたっては本人・当事者と共に考えることを重視してまいります。</p>	-

13	6	07	認知症施策	<p>【パブコメ】市民の意識調査でも、「認知症になっても地域で幸せに自分らしく暮らせるか」という問いに「あまり思わない」「全く思わない」を合わせると62.6%という数値。認知症と診断された後の支援や認知症になってからの必要な備えを当事者に直接届けることが重要。</p> <p>【パブコメ】市民向けの大規模な認知症講演会・シンポジウムなど、認知症や介護の情報を市民に効果的に発信し参加出来るような事業を求める</p> <p>【パブコメ】認知症や障害への理解促進のため、幼少期からの教育にも力を入れ、誰もが認め合える国民性を身につけられるようにしてほしい。</p> <p>【パブコメ】若年性認知症向けの通所が欲しい。送迎範囲や利用時間に縛られない八王子独自の若年層利用者専門通所が今後必要</p>	<p>・認知症を知り・受け入れる文化の醸成に向けて、若い世代を対象にして行っている普及啓発についても計画に追記します。</p>	○
14	6	07	認知症施策	<p>【部会意見】認知症サポーター養成講座受講企業でのボランティアや就労機会の創出を図る。</p> <p>【部会意見】就労型デイサービス(BLG/HYS)の増設を図り社会参加しやすい環境を整備する。</p> <p>【部会意見】チームオレンジで活動する方の共通認識をどのようにつくっていくのか。</p>	<p>別途具体的な取組の中で検討の参考にします。</p>	-
15	1	08	包括	<p>【パブコメ】あんしん相談センターについて、一生懸命やっているところとそうでないところなど、ばらつきがある。市はどのように活動を評価して、質を高めていくつもりなのか。</p>	<p>・高齢者あんしん相談センターの活動の評価や質の向上に向けては、令和6年度からの委託契約の仕様作成にあたって、確実に取り組むべき事項の明記や成果連動報酬の導入などを検討中です。</p>	-
16	1	08	包括	<p>【パブコメ】基幹型包括の機能強化というが、なかなか実績が上がっているとは思えない。きちんとケースをスーパーバイズできる人材を集めたセンターを外部に持つべきと考える。</p> <p>【部会意見】基幹形地域包括支援センターの機能強化について、専門職の配置、所管課職員の増員、庁内連携会議のメンバーなど地域包括支援センターの支援が十分に行える体制など具体的な取り組みはどのようにになっているか。</p>	<p>・複数の法人に高齢者あんしん相談センターの運営委託をしている本市においては、基幹型包括は庁内に設置することが適切と現時点では考えています。ただし、専門性や体制については抜本的な強化が必要であり、庁内横断で具体的なあり方検討を進めていきます。【施策08-5-8】</p>	-
17	1	08	重層的支援	<p>【パブコメ】【部会意見】家族に支援が必要なことが判明した場合、支援につなげられる道筋はできているか。相談窓口があるということではなく、個別事例ごとにどのような手順でどこにつなげるのかの具体的な道筋を示して、実践してほしい。</p> <p>【パブコメ】重層的支援体制整備事業やはちまるCSWのさらなる周知の為、自治会などに頻回に参加して欲しい。</p>	<p>・具体的な支援イメージを計画に記載します。【施策08-5-5】</p> <p>・重層的支援体制整備事業の更なる普及に向けては、第4期八王子市地域福祉計画に基づき今後具体的な手法を検討していきます。</p>	○

18	2	09	アウトリーチ支援	<p>【パプコメ】介護保険制度を知らない人が多い。高齢者を把握し、訪問することにより、状態がわかり適切なサービスにつながる。</p> <p>【パプコメ】民生委員、高齢者あんしん相談センター、社福(はちまるサポート)等が地域の高齢者の状況を把握し、情報共有することが重要。</p> <p>【パプコメ】包括のサテライトやアウトリーチはぜひ、推進して頂きたい。</p>	<p>・SOSを出せない方への支援には、アウトリーチや関係者間の連携が重要であると認識しています。そのためにも、第4期八王子市地域福祉計画とも連動しながら、高齢者あんしん相談センターの体制強化やはちまるの体制整備を着実に進めてまいります。</p>	-
19	2	09	制度・窓口周知	<p>【パプコメ】介護保険をこれから利用する方については、もっと情報をわかりやすく伝えていくことが必要</p> <p>【パプコメ】制度が複雑化し、わかりにくくなっている。もっとシンプルに誰でもが理解できるシステムにして欲しいです。</p> <p>【パプコメ】高齢者あんしん相談センターやはちまるサポートの存在を知らない市民が多い。具合が悪くなるとはじめて調べるのではなく、普段から相談窓口を知っておくと安心なので、相談窓口の周知を徹底して欲しい。</p> <p>【パプコメ】すべての市民が相談できるようにするため、特定の年齢の方を対象に(例えば65歳から5年に1度実施するなど)、測定会と合わせて相談窓口を周知し、介護予防・社会参加・情報発信などを行う総合イベントを行ってはどうか。</p>	<p>・制度・窓口について必要とする方に確実に知っていただくことは、上位計画である第4期八王子市地域福祉計画と共通する重要なテーマです。パブリックコメントでのご意見も踏まえ、所管横断のプロジェクトチーム設置などを検討しています。</p>	○
20	2	09	相談窓口	<p>【パプコメ】市役所出張所内やスーパーなど、たくさんの方が利用し行きやすい場所への相談窓口設置を進めてほしい。</p> <p>同様の意見複数あり</p> <p>【パプコメ】これだけ広い八王子の圏域に対して、現状21のあんしん相談センターでは少ない。シルバーふらっとなどのサテライトももっと増やすべき。高齢化率や地形などに応じてきめ細かく支援できる体制を。</p> <p>同様の意見複数あり</p>	<p>・高齢者あんしん相談センターについては、圏域内の方にとってのアクセス性を考慮し、市民部事務所内への移転などを順次進めております。</p> <p>・また、シルバーふらっとなどサテライト機能を持つ拠点についてもさらに整備を進めていくことを検討しています。【施策09-5-6】</p>	-
21	-	10	移送支援	<p>【パプコメ】外出困難な高齢者や障害の方のため、スーパーへの乗り合い車両や移動販売が増えるよう、支援を行ってほしい。</p> <p>【パプコメ】介護タクシーの介護報酬が低く撤退業者が増えて心配。</p>	<p>・市では、住民主体による生活支援サービス(訪問B)を提供する団体のうち自家用車による移送支援を行う団体への加算を行うことで、市民の力を活かした柔軟な移送支援を進めています。</p> <p>・また、生活支援体制整備事業(施策10)においては、民間企業の力を活かした自律的で持続可能な移送・買い物支援のあり方などを、地域の実情に即して模索しているところです。</p>	-

22	5	11 12	老いに備える	<p>【パブコメ】認知症の予防について、40～50代からの介護予防・認知症予防・口腔ケアの重要性という視点を加えてほしい。</p> <p>【パブコメ】高齢になって今までやっていなかった習慣を定着させるのは難しいため、若い人たちにも啓発してほしい。</p> <p>【パブコメ】45歳頃から健診に認知症チェックや自分のACP希望聞き取りなどを項目に入れて欲しい。当事者になってからでは遅い。自分に関係ないと思う人が多すぎる。</p> <p>【パブコメ】幼小中高校にヤングケアラー8050ACP等の授業を定期に入れてほしい。自分自身の一生の自己選択ができるように、若いころから知識を得るため学生時から授業を導入して欲しい。</p>	老いに備える普及啓発についても、No.19と合わせて所管横断のプロジェクトチームで検討していく想定です。	-
23	3	11	社会参加・就労	<p>【パブコメ】元気な高齢者の潜在的な社会資源を活用できるよう、シルバー人材センター等の支援強化を。</p> <p>【パブコメ】サロンなど、地域で気軽に集まれる場所への支援を強化すべき。</p> <p>【パブコメ】高齢者の活躍の場を更に充実させ周知活動をしてもらいたい。てくぽボランティア、マッチングはとても良いと思う。</p> <p>【パブコメ】継続雇用や定年引き上げはもちろん、職業訓練や起業・資格取得支援制度があると良い。おしごと応援ハンドブックは良い取り組み。</p> <p>【パブコメ】レクレーションや傾聴など、デイサービスでのボランティア受け入れをさらに支援して欲しい。</p>	<p>・活躍の場づくりに向けては、シルバー人材センターなど既存の支援機関についての連携・周知強化を図るとともに、てくぽ等を活用したICTによるマッチングを推進していきます。【施策11】</p> <p>・サロンについては、パブリックコメントのご意見を踏まえ、補助制度の再構築について計画に記載することを検討しています。見守りや介護予防など、さまざまな機能を発揮しやすい制度を検討してまいります。</p>	○
24	3	12	一般介護予防	<p>【パブコメ】60歳から使用できる「てくぽ」を介護保険料を納める40歳からスタートしてはどうか。</p> <p>【パブコメ】てくぽと桑都ペイを融合させ、若年層向けの健康づくりにも効果的に活用してはどうか。</p> <p>【パブコメ】てくぽなど、よい取組でも認知度が低い。啓発活動の工夫も必要ではないか。</p>	介護予防に関する普及啓発についても、No.19と合わせて所管横断のプロジェクトチームで検討していく想定です。	○

25	3	12	地域づくり	<p>【パブコメ】施策10において、「住民主体による訪問型サービス(介護予防、生活支援サービス)」を現状40団体が地域に密着して活動しており、この数を増やしたいなどの記載が欲しい。(重点テーマに直結した活動と思われる)</p> <p>【パブコメ】市民同士の社会奉仕活動参加の場を広めるため、既存の施設、教室、グラウンド、又は、空家等活用できる施設を借り上げ、介護予防や行事等多目的にも使ってはどうか。</p>	<p>・「住民主体による訪問型サービス(訪問B)」は、本市の誇る市民力の表れであり、全国のモデルとなっている取り組みでもあります。市はあくまでも市民団体の自主的な活動を後押しするという考えのため団体の数を目標値に設定することは考えておりませんが、団体の活動量(のべ支援数)を指標とし、その増加を目指すことを検討しています。</p> <p>・住民による活動の活性化には一定の「場」が必要になることから、市ではサロンや訪問B団体等に対して会場使用料を補助しています。</p>	-
26	3	12	地域づくり	<p>【パブコメ】住民主体の介護予防を積極的に進めるとされているが、第8期を見ても、ほとんど成果が上がっていない。高齢者の力をあてにしないでほしい。</p> <p>【パブコメ】介護保険事業計画の中の総合事業について、住民主体の訪問型サービスBや通所型サービスBなど、住民をあてにした計画は計画とは言えないと考える。</p>	<p>・年齢にかかわらず地域の中で役割を持って活躍したい方も数多くいることから、こういった活動への後押しは引き続き市として積極的に進めていきます。</p> <p>・好むと好まざるにかかわらず「困りごとは全て行政が税金で何とかします」というモデルはとうに成り立たなくなっており、それを前提にした持続可能な社会のあり方を多様な角度から模索していく必要があります。</p>	-
27	-	14	施設整備	<p>【パブコメ】小規模多機能型居宅介護事業所の増設をすすめてほしい。</p> <p>【パブコメ】小規模多機能型居宅介護事業所の空白地域をなくしていくための具体的な対策を求める。</p> <p>【パブコメ】認知症対応型のデイでも対応が難しくなった利用者の受け入れ先が不足しているように思っている。</p> <p>【パブコメ】介護が必要になっても地域でそして自宅で安心して暮らせるよう、施設整備よりも在宅介護に力を入れてほしい。</p> <p>【パブコメ】自宅での入浴が困難な要支援者について、デイサービスでの入浴対応をしてもらえるようサービス提供体制の整備を求めたい。</p>	<p>・介護が必要になっても住み慣れた場所で自分らしく暮らしていく選択肢を持ち続けられるよう、(看護)小規模多機能型居宅介護の重点的な整備など、第6章に記載した施設整備方針を着実に進めてまいります。</p>	-
28	-	14	重度化防止	<p>【パブコメ】ヘルパーやリハビリ担当者の技術が向上する講習など、企画してほしい。</p> <p>【パブコメ】通所サービス事業者・利用者向けに要介護リスク把握のための調査を行う、介護予防に効果が高いプログラムの情報を還元する等の取り組みを検討して頂きたい</p>	<p>基本的には、事業者による自発的な創意工夫を国・都が加算で支援するべきものと考えています。</p> <p>ただし、今期計画では重度化防止に成果を上げた事業者を公表するなど、市としても後押しをしていくと計画に記載しています。</p>	-

29	-	15	基本チェックリスト活用	<p>【パブコメ】基本チェックリストの活用を更に拡大し、要介護認定者の平均年齢をさらに押し上げていく必要性を強く感じた。基本チェックリストを活用して成果を上げている他市のデータも、一概に58万人都市の八王子と比較は出来ないにしても取組等を見たいと思った。可能ならば認定審査に進む前に、まずは基本チェックリストからスタートしてみてもどうか。</p>	<p>基本チェックリスト活用も含めた認定プロセスの見直しは、リエイブルメントの機会拡大にもつながることから、施策15において具体的な目標を定めて取り組みを進めていきます。</p>	-
30	4	16	介護人材	<p>【パブコメ】仕事に見合った報酬がないと介護人材不足の問題は改善しない。介護職の処遇を更に改善してもらいたい。 ほか、同様の意見多数 【パブコメ】ケアマネジャースキルアップは必要だが、研修を減らして負担軽減してもらいたい。 【パブコメ】ケアマネジャーの書類作成の負担軽減が必要。</p>	<p>・報酬引き上げや処遇改善については国の制度と認識していますが、各種加算や東京都による新たな居住費用補助制度などについて事業所・市民に確実に周知してまいります。 ・あわせて、現場での人材定着や業務プロセスの見直し、DX推進等を伴走支援する介護事業所経営課題解決支援事業(R5開始)を引き続き実施し、事業所支援を通じて人材対策を進めていきます。 ・ケアマネ不足対策や負担軽減については、今後関係者との議論を経て対応を検討していきます。</p>	-
31	8	16	生産性向上	<p>【制度改正】生産性向上・負担軽減に向けた委員会設置義務化への対応</p>	<p>事業所向け経営課題解決支援事業において重点的に支援しつつ、市内事業所への事例共有を実施することを検討</p>	-
32	-	-	進捗管理	<p>【部会意見】第9期計画については、目標をどの程度達成できたら計画が順調といえるのかなど、事前に明確に定義すべき</p>	<p>第8章に記載を追加予定</p>	○
33	-	-	介護保険料	<p>【パブコメ】介護保険料の見込みを含めてパブコメを行うべき。 【パブコメ】介護保険料のこれ以上の値上げはほしくない 【パブコメ】誰もが高齢者になります。その時納めた介護保険料が不公平感なく使えるようにしてほしい。</p>	<p>・介護保険料については素案に掲載していない事項ですので、別途決定して公表します ・世代間の不公平感につながらないよう、基本理念実現のための3つ目の柱に「未来」を据え、将来にわたって市民の皆さまが安心して暮らせる制度構築に努めていきます。</p>	-

34	-	-	その他の提案	<p>【パブコメ】入浴困難な高齢者が多いです。要介護要支援でなくても公的入浴施設から送迎車があれば閉じこもり予防となり元気な高齢者が今後増えると思います。</p> <p>【パブコメ】外に出たくても出られない方の孤立を防ぐ観点から、タブレットを配布して安否確認や地域交流の場とつなげるなど、ICTの活用を検討してはどうか。</p> <p>【パブコメ】民生委員の役割は大きい。なり手不足の背景には、業務内容のわりにボランティアに近い。有償化を進め正式な業務として委託するべきではないか。</p>	個々の提案の実現性・緊急性・費用対効果等を踏まえ、検討の参考にさせていただきます。	-
----	---	---	--------	---	---	---